

新校舎の特徴

校舎全体

学生がタブレット端末で資料を閲覧しながら講義や演習に参加するICT(情報通信技術)を活用した教育活動やオンライン授業に対応できるようWi-Fi環境を整備します。

コミュニティスペース・カンファレンスルーム【1階】

学生が談話や昼食など自由に利用できるコミュニティスペースや、グループワークなどの学習に利用できるカンファレンスルームを設けます。

実習室【2階】

実際の病室を想定し、医療用ベッド6台や、酸素などの医療ハルブの模型を備えるほか、映像を活用した演習を行うため、モニターなどを設けます。また、日常生活援助の練習が十分に行えるよう、洗髪台なども設けます。

母子小児実習室【2階】

妊産婦や新生児、小児への援助など臨床を想定した演習を行うことができるよう、可動式間仕切りにより模擬病床を作るほか、医療用ベッドやナースコールを備えます。また、演習課題に応じて使い分けられる練習用の人形や、学習の振り返りに使用する映像記録装置を備えます。

在宅実習室【2階】

実際の訪問看護や介護を想定した実習を行うことができるよう、浴室やトイレ、洗面所などを備えます。

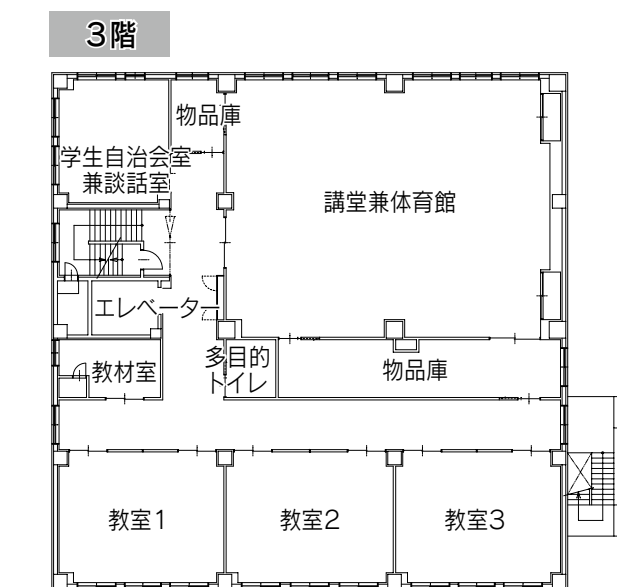
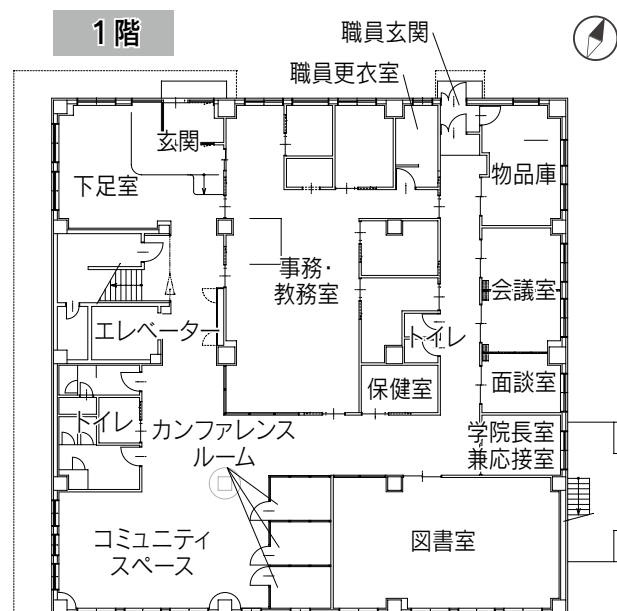
講堂兼体育館【3階】

これまで市内の体育施設で行っていた体育の講義や、入学式などの式典のほか、研修会や講演会を行うことができるよう、講堂兼体育館を新たに設置します。

看護師を目指すあなたを応援！ 修学資金の貸し付け

看護師になるため市立高等看護学院などの看護師養成所や3年制の学校、4年制大学に入学し、卒業後に深川市立病院での勤務を志望する方に、修学資金の貸し付けを行っています。

- ▼定員 若干名(予算の範囲内で選考により決定)
- ▼貸付期間 入学する学校などの正規の修学期間
- ▼貸付金額 月額7万円以内
- ▼その他 市立病院に一定期間勤務すると、返還を免除します。申請方法など詳しくは問い合わせしてください。



※一部塔屋あり



地域医療を支える看護師を養成 市立高等看護学院新校舎を建設

市立高等看護学院の現在の校舎は、老朽化など、さまざまな課題を抱えています。全国的に看護師が不足する中、看護師を養成する同学院は地域医療を維持するために重要であることから、新たな校舎を建設することにしました。今日は、新校舎建設の概要についてお知らせします。

問合せ先 市立病院管理課職員経理係(22-1101)

市立高等看護学院の役割

近年、高齢化が進み、医療の多様化などで看護師の需要が高まっている上、人口減少も要因となり、全国的に看護師が不足しています。中核病院として北空知の医療を担う市立病院には、市立高等看護学院の卒業生の約半数が毎年入職し、医療体制を維持するために重要な役割を果たしています。

新校舎建設の背景

現在の市立高等看護学院の校舎は、昭和46年の開校以来使用しているもので、建築から49年が経過しています。建物のゆがみや断熱性能の低下など老朽化が著しい状況であるほか、耐震性能の不足など、多くの課題を抱えています。

また、平成20年に改正された看護師等養成所についてのガイドラインが示す施設内容に一部対応していないなどの課題もあることから、市では、安全性の確保や修学環境の整備の必要性を総合的に判断し、新たな校舎を近隣の市有地に建設することとしました。

校舎の建設にあたっては、本市の医療従事者育成の中心施設として将来の教育カリキュラム改正にも柔軟に対応できるよう計画し、本年11月から工事を行っています。なお、完成は令和3年12月を予定しています。

施設概要

- ◆建設地 6条8番5号
- ◆構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3階建て
- ◆延床面積 1,815.96㎡
- ◆工事費 約8億3,500万円

